

社会資本総合整備計画 事前評価調書

計画の名称	富山市における安全で緑豊かな生活環境の創出
交付対象	富山市
計画期間	平成24～28年度(5年間)
計画の目標	緑豊かな都市環境を保全・創出し、温室効果ガス吸収源対策に資するとともに、潤いある生活環境の形成を図る。また、既存の都市公園について、老朽化に対する安全対策の強化および効率的な維持管理を目的とした長寿命化計画を策定し、市民の安全で快適な公園利用を目指す。
定量的指標 (目標値)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人当りの公園緑地面積を14.17人/㎡から14.50人/㎡にする。 ・環境モデル都市行動計画に基づき、都市公園の芝張、緑化を2,500㎡を整備する。 ・都市公園の長寿命化計画策定公園数を0公園から303公園にする。
対象事業	公園事業
全体事業費	794百万円

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	富山市総合計画、富山市都市マスタープラン等に位置付けている計画と整合が取れている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	既存の都市公園について、老朽化に対する安全策の強化及び効率的な維持管理を目的とした長寿命化計画を策定し、市民の安全で快適な公園とする。
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標を定量的に図ることができる指標を設定している。
	2 定量的指標がわかりやすいものとなっているか	○	公開されている統計データや調査結果を基にした指標であり、分かりやすさに配慮した指標となっている。
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している。
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	毎年の統計データや毎年実施している調査結果を基にした指標であり、中間・事後評価時に検証可能かつ適切な指標となっている。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、事業効果が得られる計画となっている。
計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	目標達成に必要な事業を位置付けており、計画の熟度および円滑な事業執行環境は整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元からの要望が強い事業も多く含まれていることから、地元との合意形成など実現に向けた機運が醸成されている。
評価結果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">評価Ⅰ 事業を実施</div> 評価Ⅱ 計画の見直し	【評価基準】 「評価Ⅰ」は全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの	